

DMAT 救急車が新しくなりました

城西病院のDMAT（災害派遣医療チーム）の救急車が6月、新しく入れ替わりました。新しい車両は、筑西広域消防本部筑西消防署関城分署で活躍していた救急車です。

消防署では、救急車などの消防車両を定期的に更新しており、同消防本部のご厚意で、大規模災害などで緊急医療支援活動を行うDMAT車両などとして使用するため、達生堂グループの公益財団法人茨城国際親善厚生財団（IIFF）に託されました。救急車は、消防署で現役として使用されていた時の医療装備をほぼ受け継ぎ、緊急車両として登録しています。ストレッチャーや医療用モニターなどを備え、酸素ボンベなどの医療器材を積み込むことができます。

これまで使用していた救急車は、2019年9月に千葉県などを襲った台風の被災地に駆けつけてDMAT救急車として避難患者を周辺の医療機関に搬送しました。このほか、祭りなどのイベントの際には患者搬送に備えて待機したり、病院での患者搬送にも活躍しました。新しいDMAT救急車も普段は病院での患者搬送などを行い、DMAT出動時にはこの救急車で被災地に駆けつけます。

2023年6月22日

